



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社進学会ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9760 URL <https://www.shingakukai.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平井 将浩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 竹山 正輝 TEL 011-863-5557
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	5,055	15.5	△796	—	△828	—	△1,004	—
2025年3月期第3四半期	4,376	36.3	△369	—	△384	—	△445	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △977百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △426百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△58.35	—
2025年3月期第3四半期	△25.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	17,572	8,124	46.2	487.73
2025年3月期	23,617	9,313	39.4	527.57

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 8,119百万円 2025年3月期 9,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,500	20.1	△280	—	△330	—	△480	△27.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	20,031,000株	2025年3月期	20,031,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	3,382,526株	2025年3月期	2,382,496株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	17,208,016株	2025年3月期3Q	17,731,049株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境のゆるやかな改善や、政府の各種施策などから、穏やかに回復しております。一方、中国経済の先行きに対する懸念や米国の政策動向、また不安定な世界情勢による下振れリスク、国内においては物価上昇の継続による個人消費への影響、金融資本市場の変動等の影響に注視を要する状況にあり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境のもと、当社グループが今後の更なる成長を実現していくために、提携各社との一層のアライアンスの強化を行い、指導法や教材開発、募集活動等のノウハウの共有を図るとともに、全国の直営会場体制に関しては採算性の重視とスピード感のあるスクラップ&ビルドにより、質と量の両面において教室網の強化を進めております。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの運営につきましては、教育関連部門における個別指導部門を強化し、AIオンライン塾Go・KaKuを組み合わせた商品の開発など、売上増加施策に取り組んでまいりました。しかしながら、不採算本部・会場を昨年度末に閉じた影響で売上において計画を下回る結果となりました。

資金運用事業においては、4月に米国政府の通商政策の影響から株価が乱高下しており、売上は好調であったものの利益において計画を下回りました。

不動産事業においては、2024年に新たに設立した会社が軌道に乗ってきたことにより、当社グループの所有している販売用不動産を売却し、売上・利益ともに増加しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,055百万円(前年同四半期比15.5%増)、営業損失は796百万円(前年同四半期は369百万円の営業損失)、経常損失につきましては828百万円(前年同四半期は384百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,004百万円(前年同四半期は445百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は、次のとおりであります。

イ. 教育関連事業

積極的な会場のスクラップ&ビルドを進めるとともに、採算性の向上に取り組んでおります。特に採算の合わない会場の移転・閉鎖を進めており経費の圧縮を進めています。

個別指導部門は売上高が前年を上回っている一方で、集団授業の縮小により売上の前年同四半期比が下がりました。この結果、売上高は726百万円(前年同四半期比11.2%減)となり、124百万円のセグメント損失(前年同四半期は206百万円のセグメント損失)となりました。

ロ. スポーツ事業

道内3ヶ所に施設を構えているスポーツクラブZipは、夏短期において前年と比べ新規生の募集・入会ともに回復の兆しが見えてきましたが、冬の募集・入会で昨年の数字を下回り、目標までの水準に届かず、売上高は244百万円(前年同四半期比3.5%減)となり、セグメント損失は26百万円(前年同四半期は14百万円のセグメント損失)となりました。

ハ. 不動産事業

不動産の売買や賃貸、学習塾部門の教室の管理・清掃に関わる不動産事業は、売上高は932百万円(前年同四半期比125.9%増)となり、セグメント利益は287百万円(前年同四半期比15.1%増)となりました。

ニ. 資金運用事業

資金運用会社である株式会社SG総研の売上高は2,859百万円(前年同四半期比9.3%増)となり、セグメント損失は、703百万円(前年同四半期は141百万円のセグメント損失)となりました。

ホ. その他

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入れ販売な

どを含んでいます。売上高は292百万円（前年同四半期比5.8%増）となり、セグメント利益は76百万円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,744百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,955百万円減少しました。これは主に現金及び預金が2,280百万円、有価証券が305百万円、販売用不動産が476百万円、未収入金が2,887百万円減少したことなどによるものです。固定資産は7,827百万円となり、前連結会計年度末に比べて89百万円減少しました。

この結果、総資産は17,572百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,044百万円減少しました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は9,115百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,913百万円減少しました。これは主に未払金が5,636百万円減少したことなどによるものです。固定負債を含めて負債合計は9,447百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,856百万円減少しました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は8,124百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,188百万円減少しました。これは主に利益剰余金が1,048百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は46.2%（前連結会計年度末は39.4%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想に関しましては、2025年11月14日に発表した、通期業績予想の修正に関するお知らせに記載している通りで、現状変更の予定はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,476,347	3,195,523
受取手形及び営業未収入金	129,368	99,010
有価証券	305,566	0
商品及び製品	11,143	13,892
仕掛品	7,409	450
原材料及び貯蔵品	9,853	10,833
販売用不動産	2,767,669	2,291,191
未収入金	6,860,600	3,972,656
その他	137,480	164,691
貸倒引当金	△5,336	△3,397
流動資産合計	15,700,104	9,744,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,165,741	11,061,230
減価償却累計額	△7,445,872	△7,452,595
建物及び構築物（純額）	3,719,869	3,608,635
機械装置及び運搬具	548,226	514,805
減価償却累計額	△530,867	△501,614
機械装置及び運搬具（純額）	17,359	13,190
土地	3,064,442	3,064,442
その他	799,872	795,182
減価償却累計額	△789,419	△783,710
その他（純額）	10,453	11,472
有形固定資産合計	6,812,124	6,697,741
無形固定資産		
その他	11,035	9,213
無形固定資産合計	11,035	9,213
投資その他の資産		
投資有価証券	534,862	574,497
敷金及び保証金	107,954	99,559
退職給付に係る資産	352,458	355,398
繰延税金資産	7,939	1,014
その他	90,649	89,871
投資その他の資産合計	1,093,864	1,120,340
固定資産合計	7,917,023	7,827,295
資産合計	23,617,128	17,572,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,602	77,234
短期借入金	7,035,592	7,703,587
未払金	6,592,898	956,622
未払法人税等	118,932	68,775
未払費用	47,612	47,904
前受金	109,819	232,782
その他	50,887	28,179
流動負債合計	14,028,345	9,115,086
固定負債		
役員退職慰労引当金	54,488	103,323
資産除去債務	96,158	58,375
預り敷金保証金	77,588	48,584
繰延税金負債	46,700	121,897
固定負債合計	274,936	332,182
負債合計	14,303,282	9,447,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	2,976,995	1,928,834
自己株式	△1,043,057	△1,210,877
株主資本合計	9,262,037	8,046,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,587	34,187
退職給付に係る調整累計額	51,357	39,662
その他の包括利益累計額合計	48,770	73,849
非支配株主持分	3,038	4,974
純資産合計	9,313,846	8,124,880
負債純資産合計	23,617,128	17,572,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,376,653	5,055,612
売上原価	4,289,881	5,448,950
売上総利益又は売上総損失(△)	86,771	△393,338
販売費及び一般管理費	456,528	403,617
営業損失(△)	△369,757	△796,956
営業外収益		
受取利息	262	2,191
受取配当金	13,977	13,507
補助金収入	3,825	—
その他	13,644	8,234
営業外収益合計	31,709	23,933
営業外費用		
支払利息	12,998	37,081
解決金	25,209	9,000
賃貸借解約損	2,354	—
その他	5,728	9,234
営業外費用合計	46,290	55,315
経常損失(△)	△384,338	△828,338
特別利益		
固定資産売却益	1,068	233
投資有価証券売却益	10,672	300
特別利益合計	11,740	534
特別損失		
固定資産除却損	3,397	2,843
特別損失合計	3,397	2,843
税金等調整前四半期純損失(△)	△375,994	△830,647
法人税等	70,682	171,457
四半期純損失(△)	△446,677	△1,002,104
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,165	1,935
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△445,511	△1,004,039

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△446,677	△1,002,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,482	42,249
退職給付に係る調整額	△20,671	△17,170
その他の包括利益合計	19,811	25,079
四半期包括利益	△426,865	△977,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△425,700	△978,960
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,165	1,935

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	教育関連 事業	スポーツ 事業	不動産 事業	資金運用 事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	817,271	253,540	6,167	—	1,076,979	276,861	1,353,841	—	1,353,841
その他の収益	—	—	406,429	2,616,382	3,022,811	—	3,022,811	—	3,022,811
外部顧客への売上高	817,271	253,540	412,597	2,616,382	4,099,791	276,861	4,376,653	—	4,376,653
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,254	158,269	—	163,524	132,144	295,669	△295,669	—
計	817,271	258,795	570,866	2,616,382	4,263,316	409,005	4,672,322	△295,669	4,376,653
セグメント利益又は損失(△)	△206,427	△14,376	249,352	△141,102	△112,554	63,551	△49,002	△320,754	△369,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に各グループ会社への経営指導料、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	教育関連 事業	スポーツ 事業	不動産 事業	資金運用 事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	726,129	244,633	549,306	—	1,520,068	292,942	1,813,011	—	1,813,011
その他の収益	—	—	382,693	2,859,906	3,242,600	—	3,242,600	—	3,242,600
外部顧客への売上高	726,129	244,633	932,000	2,859,906	4,762,669	292,942	5,055,612	—	5,055,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,100	147,961	—	153,062	120,117	273,179	△273,179	—
計	726,129	249,734	1,079,961	2,859,906	4,915,731	413,060	5,328,791	△273,179	5,055,612
セグメント利益又は損失(△)	△124,900	△26,966	287,082	△703,479	△568,263	76,802	△491,460	△305,495	△796,956

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に各グループ会社への経営指導料、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、報告セグメントのうち従来の「賃貸事業」を「不動産事業」に変更しています。当社グループは2024年4月に株式会社ホクシンビル開発を設立し、不動産の売買を開始しました。これにより、従来のマンションの所有、管理・清掃を行う「賃貸事業」に不動産の売買を加えて「不動産事業」と名称を変更しております。なお、前四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	133,136千円	127,809千円